

'24

推薦

## 小論文 2

(医学部医学科)

### 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は1冊(7頁)、解答用紙は3枚、下書用紙は3枚です。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所等がある場合には申し出てください。
3. 氏名と受験番号は解答用紙の所定の欄に記入してください。
4. 解答は指定の解答欄に記入してください。
  - (1) 文字はわかりやすく、横書きで、はっきり記入してください。
  - (2) 解答の字数に制限がある場合には、それを守ってください。
  - (3) ローマ字か数字を使用する場合は、2文字で1字とカウントしてください。
5. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
6. 問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。

以下の文章は、ある医療事故の経緯を説明したものである。文章を読んで、問1-3に日本語で答えなさい。\*の付いた語には本文下に訳注があります。

## 著作権者に掲載許諾申請中

---

\* general practitioner (GP): 日本における一般開業医に相当する

\* physician: 内科医

# 著作権者に掲載許諾申請中

---

\*otoscope: 耳鏡。ルーペと光源からなる、外耳道と鼓膜を観察する器具

\*outer ear canal : 外耳道

\*topical antibiotic ointments: 局所に用いる抗生物質軟膏

\*cefaclor: セファクロル。抗生物質である cephalosporin の一種

\*prescription: 処方箋。医師が薬の種類や量、服用方法を記載した書類

# 著作権者に掲載許諾申請中

---

\*proficient: 堪能な

# 著作権者に掲載許諾申請中

---

\*dispense: 調剤する、投薬する

\*welts: みみず腫れ

\*rouse: 目覚めさせる

\*cardiopulmonary resuscitation (CPR): 心肺蘇生法

\*paramedic: 救急医療隊員

\* aftermath: (戦争・災害などのあとの)状態, 余波

\* anaphylactic reaction: アナフィラキシー反応。全身性にアレルギー症状が惹起され、生命に危機を与え得る過敏反応

\* IgE: 抗体分子の種類。アレルギー反応を引き起こす

# 著作権者に掲載許諾申請中

Julie Johnson, Helen Haskell, Paul Barach: Case Studies in Patients Safety (2016)  
より一部改変

---

\*contraindicated : 禁忌である (危険なので使用してはいけない)

\*cephalosporin : セファロスポリン。抗生物質の一種

\*penicillins : ペニシリン。抗生物質の一種

\*carbapenems : カルバペネム。抗生物質の一種

\*cephalexin : セファレキシシン。抗生物質の一種

\*lapse 失効する

\*self-reproach 自責

問1 本文の内容を400字以内でまとめなさい。

問2 このような事故が再び起きないようにするためにはどのような対策が可能でしょうか。個人の注意や心がけに頼るのではなく、具体的な手順や仕組み・装置・プログラムなどによる対策を、次の3つの立場からそれぞれ2つ提案し、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- (1) 患者を直接診療する医師
- (2) 医師に医療の場を提供する病院
- (3) 薬剤師

問3 このような事故が再び起きないように患者自身やその家族には何ができるでしょうか。2つ提案し、200字以内で説明しなさい。

(以下余白)